

には、センチコガネ *G. laevistriatus* Motschulsky は殆んどゐなく、ただ横山博士がムラサキセンチコガネ、*G. purpurascens* Waterhouse を1頭得られたのみであつた。ここに於て、少くとも吾々の仲間では今迄貴重せられてゐたオホセンチコガネも普通のものになつて仕舞つた、その後日光に於ても可成採集することが出来たが、赤城山に比較すれば非常に少数であつた。

4. 玉川に於て人糞中よりルリエンマムシ *Sapinus subaeneus* Schmitt を採集す。——横山博士は蛇の死骸より採集せられ、朝比奈正二郎氏(「昆蟲」第3巻、第2號)は市外戸山ヶ原に於て腐敗した魚より採集せられ、久内清孝氏は(「昆蟲」第2巻第2號)人糞で採集せられたそうである。著者も本年6月玉川二子橋先きに於て、人糞中より7頭を採集し、その後7月學友清水香君は二子橋下にある人糞中より3頭採集せられた。一回に數頭宛も採集出来るところを見ると、朝比奈氏の云はるる通り、少くとも東京附近では最早や珍品ではなくなつたことだけは事實だ。

5. ムネアカコガネ *Bolboceras nigroplagiatum* Waterhouse 糞に集まらぬか。——著者は過去數年前より動物の糞に集まる甲蟲類に注意を向けつつあつたが、ムネアカコガネの野外を飛翔中のものか、夜間燈火を慕つて來たものを採集した外、直接糞中より採集することは一回も出来なかつた。まだ著者の注意の足りないのか、若しこの食性に關して知らるる方は知らせてもらひたい。

(東京農業大學博物學教室内)

二種の *Ectrichodiinae* に就て

私は 1929. VII. 17 三崎に於て1頭の *Haematoloea delibuta* クビグロアカサシガメを得た。福井氏に依れば、九州と本州、松村博士に従へば、京都に産する由であるが、多分本州でも南方系の土地に限られるのではあるまいか。矢野先生の採地は三崎か東京附近であらうと思ふ。

Ectrychotes andrae ビロウドサシガメの nymph と思はれるものが1頭 1927. VII. 26 伊豆大島で得られた。福井氏によると、本州、松村博士によれば、其の他に琉球、臺灣に産する由であるが、同島では初めて知られるものであらう。やはり南方系のものと思はれる。(古川晴男)